

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票(令和元年度事業)

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値 \geq 100%	4	A
ほぼ達成	目標値 \geq 80%	3	B
やや不十分	目標値 \geq 50%	2	C
不十分	目標値 $<$ 50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値 \geq 75%	4
ほぼ達成	達成値 \geq 65%	3
やや不十分	達成値 \geq 50%	2
不十分	達成値 $<$ 50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値
I	取蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	取蔵資料	1	博物館資料の受入等	元年度実績	4件	4	A	
					館設定元年度の目標	2件			
			2	資料の情報化・公開実績	元年度実績	14点	4		
					館設定元年度の目標	14点			
			3		元年度実績				
					館設定元年度の目標				
		取蔵資料の有効活用	4	館外貸出(外部機関等展示等)	元年度実績	8件	4		
					要望のあった件数	8件			
			5	館内利用(学術調査等)	元年度実績	4件	4		
					要望のあった件数	4件			
			6	著作物資料への利用(出版物掲載等)	元年度実績	16件	4		
					要望のあった件数	16件			
調査研究	7	調査事業件数	件数	元年度実績	9件	4			
			館の計画	9件					
	8	共同調査事業件数	件数	元年度実績	2件	4			
				要望のあった件数	2件				
	9	研究成果の公開状況	論文研究報告	元年度実績	5件	4			
				館の計画	5件				
大項目 I の総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	資料情報の公開は、ホームページ、メールマガジンなど、情報にアクセスしやすい方法へとシフトしているところである。調査事業については、展覧会開催を前提として、調査回数や実施方法などの体制が整ってきている。								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値				
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	美術館	入館者数	元年度実績	122,238人	4	A	前年度は企画展「中山忠彦—永遠の美を求めて—」を開催
						前年度実績	111,638人			
			2	特別展「絵のみち・折りのころ—日本画家 後藤純男の全貌—」	入館者数	元年度実績	18,031人	4		
						前年度実績	8,829人			
			3	移動美術館	入館者数	元年度実績	1,440人	4		
						前年度実績	1,161人			
		展示の充実	4	アートコレクション	更新回数	元年度実績	9回	4		
						館設定元年度の目標	9回			
			5	特別展「絵のみち・折りのころ—日本画家 後藤純男の全貌—」	実施回数	元年度実績	1回	4		
						館設定元年度の目標	1回			
			6	千葉の新進作家vol.1 志村信裕-残照-	実施回数	元年度実績	1回	4		
館設定元年度の目標	1回									
7	Ch AIR -Chiba Prefectural Museum of Art: Artist in Residence		実施回数	元年度実績	1回	4				
				館設定元年度の目標	1回					
8	移動美術館	実施回数	元年度実績	1回	4					
			館設定元年度の目標	1回						
総合的な満足度	9	美術館	アンケート満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	元年度実績		4	A	計数せず		
				10	特別展「絵のみち・折りのころ—日本画家 後藤純男の全貌—」				元年度実績	98%
				11	移動美術館				元年度実績	85%
大項目IIの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	特別展「絵のみち・折りのころ—日本画家 後藤純男の全貌—」については、過去の特別展企画の中でもトップ層と並ぶ程の入場者数を達成した。さらに新進気鋭作家の展示をアートコレクション展と並行して行うことで若い入場者数も増加する結果となった。今年度増加した分の客層が当館の常客として定着を図るために企画・情報提供を行っていく必要がある。									
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	元年度実績	52%	2	B	平成31年度収入／平成31年度当初予算
						前年度実績	52%			
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	元年度実績	1件	4		
						前年度実績	0件			
大項目IIIの総合評価(A~D)							B			
博物館コメント	入場料収入増加のために、有料入場者に該当する若い新規入場者の獲得に努める必要がある。									
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	元年度実績	101回	1	C	HPアップ数+メルマガアップ数+ツイート数
						前年度実績	309回			
			2	HPでの利用状況	アクセス数	元年度実績	153,405件	4		
						前年度実績	125,768件			
			3	報道機関への情報発信	取材件数	元年度実績	29件	3		
						前年度実績	30件			
大項目IVの総合評価(A~D)							C			
博物館コメント	博物館情報システムを生かした広報情報の発信について、今年度はツイッターの活用が減少したものの、HP等の利用状況は前年度を上回る実績を残すことができた。									

分類	大項目	中項目	小項目			達成 状況	総合 評価	備考
			上段:達成値 下段:目標値	値の説明	数値			
			ツイッターを含めたHP等のアップ数を増やし、更なる情報発信に努めたい。					

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値			
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	元年度実績	37校	3	補正値の活用により算出方法を変更したため
					前年度実績	39校			
			2	入館者数	元年度実績	258人	1		
					前年度実績	731人			
			3	生徒・児童	入館者数	元年度実績	10,793人	4	
		前年度実績				3,042人			
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	元年度実績	10校	2		
					前年度実績	20校			
		5	利用者数	元年度実績	860人	2			
				前年度実績	1,449人				
地域関係団体との連携	6	団体数	元年度実績	7団体	4				
			要望があった数	7団体					
	7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	元年度実績	7回	4			
				館設定元年度の目標	7回				
	8	利用者数	元年度実績	16,081人	4				
			前年度実績	12,189人					
9	友の会活動	利用人数	元年度実績	388人	3				
			前年度実績	449人					
10	ボランティア活動	活動延人数	元年度実績	493人	4				
			前年度実績	427人					
大項目Vの総合評価(A~D)							B		
博物館コメント	<p>年度前半期の普及課職員の退職に伴い、出前授業等の学校対応に十分な実績を上げることができなかった。学校団体による入館者数は減少しているが、出前講座や美術館体験学習等の要望は増加傾向にあり、それらの要望に応えていけるような態勢作りが急務である。また、「教師のためのアートガイダンス」などの現職教員を対象とした研修等を通じて、美術館の学習支援事業を周知していくことにより、学校団体の利用促進を図りたい。</p>								

分類	大項目	中項目	小 項 目				達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値					
VI	教育・普及活動	来館状況	1	陶芸基礎	参加者数	元年度実績	11人	2	B		
						募集員数	20人				
			2	陶芸中級	参加者数	元年度実績	18人	4			
						募集員数	18人				
			3	ホリデーアート・はじめての蜜蝋版画	参加者数	元年度実績	17人	3			
						募集員数	20人				
			4	ホリデーアート・蜜蝋版画の展開	参加者数	元年度実績	16人	3			
						募集員数	20人				
			5	金工（鍛金）	参加者数	元年度実績	9人	2			
						募集員数	15人				
			6	篆刻	参加者数	元年度実績	21人	4			
						募集員数	20人				
			7	こどもの日・絵具と仲良し	参加者数	元年度実績	159人	4			
						募集員数	100人				
			8	子どものための日本画教室	参加者数	元年度実績	17人	3			
						募集員数	20人				
			9	オリジナルモノレールをつくろう	参加者数	元年度実績	18人	2			
						募集員数	30人				
			10	100人ワークショップ	参加者数	元年度実績	45人	3			
						館設定元年度の目標	50人				
			11	けんび子どものアトリエ	参加者数	元年度実績	128人	3			
募集員数	160人										
12	講演会	参加者数	元年度実績	66人	4						
			館設定元年度の目標	60名							
13	特別展開関連事業 ギャラリートーク	参加者数	元年度実績	520人	4						
			館設定元年度の目標	330人							
14	ワークショップ・もこもこもりあげいわえのぐ	参加者数	元年度実績	16人	3						
			募集員数	20人							
15	アーティストトーク①	参加者数	元年度実績	53名	3						
			館設定元年度の目標	60名							
16	アーティストトーク②	参加者数	元年度実績	48名	3						
			館設定元年度の目標	60名							
17	志村信裕展開関連事業 キュレータートーク	参加者数	元年度実績	32人	2						
			館設定元年度の目標	60人							
18	ワークショップ・動物の土鈴をつくろう	参加者数	元年度実績	29人	4						
			募集員数	20人							
19	ワークショップ・文庫カパー屋台	参加者数	元年度実績	15人	4						
			募集員数	15人							
20	ChAIR関連事業 スタンプワークショップ	参加者数	元年度実績	38人	4						
			募集員数	30人							
21	移動美術館ギャラリートーク	参加者数	元年度実績	44人	4						
			前年度実績	44人							
VI	教育・普及活動	来館状況	1	陶芸基礎	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	元年度実績	100%	4	A		
						2	陶芸応用			元年度実績	100%
						3	ホリデーアート・はじめての蜜蝋版画			元年度実績	100%
						4	ホリデーアート・蜜蝋版画の展開			元年度実績	100%
						5	金工（鍛金）			元年度実績	100%
						6	篆刻			元年度実績	100%

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考			
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明	数値						
		総合的な満足度	7	ワークショップ	こどもの日・絵具と仲良し	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	元年度実績	100%	4	A		
			8		県民の日・日本画教室		元年度実績	100%	4			
			9		オリジナルモデルールをつくらう		元年度実績	100%	4			
			10		100人ワークショップ		元年度実績	100%	4			
			11		けんび子どものアトリエ		元年度実績	100%	4			
			12	特別展関連連事業	講演会		元年度実績	98%	3	B		
			13		ギャラリートーク		元年度実績				計測せず	
			14		ワークショップ・もこもこりあげ いわえのぐ		元年度実績	100%	4			
			15	志村信裕展関連連事業	アーティストトーク①		満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	元年度実績	75%	4	B	
			16		アーティストトーク②			元年度実績	85%	4		
			17		キュレータートーク			元年度実績	62%	2		
		18	ワークショップ・動物の土鈴をつくらう		元年度実績				計測せず			
		19	ワークショップ・文庫カバー屋台		元年度実績				計測せず			
		20	ChAIR関連連事業		スタンプワークショップ	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合		元年度実績				計測せず
		21	移動美術館ギャラリートーク	満足度「とっても良かった」+「良かった」の割合	元年度実績			計測せず				
		利用状況	22	相談件数(来館、メール、電話等)	利用件数	元年度実績			計測せず			
						前年度実績			計測せず			
		大項目Ⅵの総合評価(A~D)							B			
		博物館コメント	<p>展示事業に関連したトークイベントやワークショップの企画・運営を充実させることで、比較的若い年齢層の集客を図ることができた。また、子どもを対象としたワークショップや実技講座の参加者にはリピーターも多く、期待も大きい。内容をさらに工夫して、高い満足度を継続していけるように取り組んでいきたい。</p>									

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値	
Ⅶ	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	元年度実績	9人	4			
					館設定元年度の目標	9人				
			2	教員等の研修	元年度実績	32人	3			
					館設定元年度の目標	40人				
			3	職場体験	元年度実績	26人	4			
					館設定元年度の目標	20人				
			4	インターンシップ	元年度実績	8人	4			
					館設定元年度の目標	8人				
		安全管理	5	研修会の開催	実施回数	元年度実績	1回		4	
					館の計画	1回				
			6	防災訓練実施等	実施回数	元年度実績	2回		4	
					館の計画	2回				
大項目Ⅶの総合評価(A~D)						B				
博物館コメント	実習・研修については、要望が増える傾向にある。なるべく多くの希望者を受け入れていけるよう対応していきたい。また、安全・防災に関する研修等も計画的に実施することができた。									
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	元年度実績	8団体	4			
					前年度実績	5団体				
					元年度実績	269人			4	
					前年度実績	91人				
			3	外国人来館入込	元年度実績	1団体	4			
					前年度実績	0団体				
					元年度実績	369人	4			
					前年度実績	301人				
		大項目Ⅷの総合評価(A~D)							A	
		博物館コメント	県外や外国人観光客の更なる増加のために、情報提供の量を増やすとともに多言語化の整備を図る必要がある。							
		総合評価(A~D) 【各達成度の平均】							B	
		総合評価と次年度への対策	アートコレクションについては、日頃の調査研究の成果として、当館のコレクションを中心とした展示を行っているところであるが、来館者のニーズに対応するという観点から、特に人気の高いコレクションを常設展示していく方向で、展示の工夫を図っていきたい。教育普及活動においては、県内大学と連携した多様なワークショップを企画し、内容をさらに充実させていきたいと考えている。また、学校団体の利用促進に向けて学校のニーズをよく把握し、それに対応できるプログラムを準備していくことで、成果をあげていけるよう取り組みたい。							